

担い手づくり部門(ア)

埼玉県深谷市 株式会社いちご畑
(代表取締役：高荷 政行 氏)



- 経営規模：1.1ha（いちご0.7ha、トマト0.3ha、ナス0.1ha）

(注) 数字は令和2年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 平成14年に県内で先駆けて高設栽培によるいちご狩りと完熟いちごの直売を柱とした観光いちご園の経営を開始し、平成28年に法人化。
- ・ いちご狩りは、埼玉県オリジナル品種「あまりん」をはじめ常に複数品種を用意。高設栽培のため腰をかがめずに収穫が可能となっているほか、ハウス内は車椅子やベビーカーでも利用可能なバリアフリー設計を取り入れ、幅広い客層が利用できるよう工夫している。
- ・ 研修生を随時受け入れ、これまでに12人が研修後に観光いちご園を新たに開業。研修では、栽培管理技術や販売、経営に関する知識などの体系的な習得を目的とした実務研修を実施。就農後には定期的に圃場を視察し、実際の営農状況に即したアドバイスで研修生をサポート。
- ・ 平成15年には県内のいちご農家有志4名でいちごの育苗技術に関する勉強会を立ち上げ、同20年に「養液いちご研究会」として組織化。講習会や視察研修、資材メーカー等の賛助会員からの新たな製品や技術に関する情報の収集などにより、いちご生産に関する知識の習得に取り組んでいる。
- ・ 研修生には同研究会への参加を促し、会員同士で圃場見学や意見交換を行うことで他の農業者とのネットワークづくりを支援するなど、新規就農支援体制を構築している。